

2016/8/1 (月)

平成 27 年度 神奈川県小児等在宅医療連携拠点事業

小児在宅医療患者実数調査 結果

方法：神奈川県内で小児科研修指定を受けている 38 病院を対象にアンケート方式で回答を求めた。在宅療養指導管理料を算定している 18 歳以下の患者を医事データから抽出して、それぞれの患者がどのような医療的ケアを行っているかを調査した。

結果：回収数 31 (回収率 82%)、調査対象総数 1088 例

1. 医療機関別対象患者数

31 医療機関	患者数 1088
こども医療センター	649
北里大学病院	108
横浜市大センター病院	69
聖マリアンナ医大病院	62
藤沢市民病院	42
聖マリアンナ西部病院	26
茅ヶ崎市立病院	18
横浜労災病院	17
横須賀市立 うわまち病院	13
日本医大武蔵小杉病院	11
平塚市民病院	11
神奈川リハビリテーション病院	10
その他 18 医療機関 (うち 7 医療機関で対象患者 0)	52

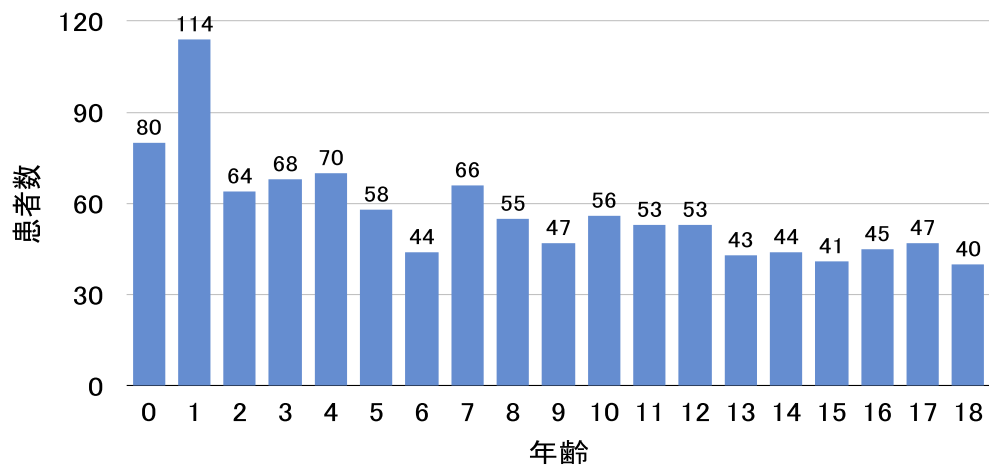
2. 地域別対象患者数

地域名	患者数 1088		
横浜市	515	小田原市立病院	8
川崎市	99		人工呼吸 TPPV 1
相模原市	74		NPPV 2
藤沢市	68		気管切開 2
横須賀市	58		小児経管栄養 2
平塚市	40		自己導尿 1
茅ヶ崎市	39	小田原市	19
大和市	25	箱根町	1
その他の市町村	139	湯河原町	1
県外 (町田市 17)	31	真鶴町	0

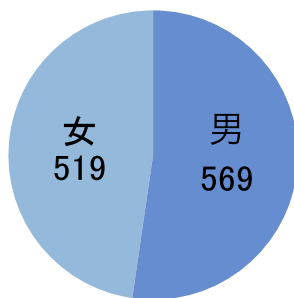
3. 在宅療養指導管理料別患者数

在宅療養指導管理料	患者数 1088
在宅自己腹膜灌流指導管理料	5
在宅中心静脈栄養法指導管理料	9
在宅人工呼吸指導管理料（TPPV）	73
在宅人工呼吸指導管理料（NPPV）	32
在宅成分栄養経管栄養法指導管理料	1
在宅酸素療法指導管理料	334
在宅自己導尿指導管理料	167
在宅小児経管栄養法指導管理料	331
在宅寝たきり患者処置指導管理料	90
在宅気管切開患者指導管理料	44
その他	2

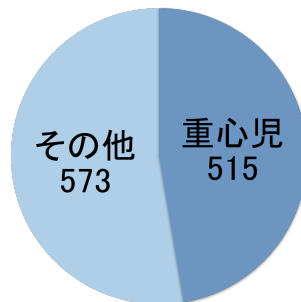
4. 年齢分布



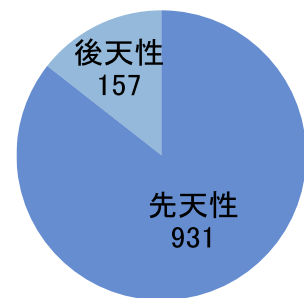
5. 性別分布



6. 疾患区分1



7. 疾患区分2



8. 医療的ケア別患者数（延べ数）

医療的ケア	延べ患者数
気管切開	205
人工呼吸（TPPV）	78
人工呼吸（NPPV）	35
酸素	408
胃瘻	305
腸瘻	9
人工肛門	5
自己導尿	180
腹膜透析	5
高カロリー輸液	11

※ あくまでも在宅療養指導管理料を算定している患者のうちの医療的ケア数なので、当該医療的ケアを行っている全数ではない点に要注意。

【まとめ】

患者数の都市部・基幹病院への偏在が目立ち、一部医療機関の負担増大と共に、県域自治体における経験不足から来る支援体制整備困難・ノウハウ蓄積困難な状況も見て取れる。低年齢児に対する在宅医療も多く行われている実情であり、重心児以外の対象児が多い事も特徴的と考えられた。

以上、回収率も高く神奈川県内の主要な病院で在宅療養指導管理料を算定しているほとんどの患者を調査できたものとする。ただし、近年は在宅療養指導管理料を地域医療機関（特に在宅療養支援診療所）に移管する例も増えているため、全数を調査できた訳ではない。神奈川県小児等在宅医療連携拠点事業として、このさき数年間を定点調査して年次推移を追跡したい。

神奈川県立こども医療センター患者家族支援部部長 星野陸夫（文責）